



## 竜丘再発見

今年四月、建設省・飯田市天竜川環境整備公社・天竜舟下り会社の事業により、天竜舟下りの発着場である新時又港が完成しました。単なる舟着場だけでなく親水護岸としてドックの一部が階段状になっています。以前は舟下りは時又で留まるところはめずらしかったのですが、観光客の流れの変化から次第に時又で留まる舟が増加し、そのころから時又港という名前が定着したと思います。

又港の歴史は江戸時代まで  
さかのぼるようです。  
江戸時代は木材・米が川  
を下り、塩や茶などが川を  
上って来たようです。  
陸路として中山道・伊那  
街道、秋葉街道も重要でし  
たが物を運ぶ量としては舟  
の方が有利であったので、  
しばしば陸路に係る中馬と  
の間でいろいろあったこと  
も村誌の中で述べられて  
います。

それから明治に入つても  
時又港は発展を続け、物資  
の移動ばかりでなく人々も  
また多く舟によつて運ばれ  
たようで、多くの有名な人  
たちが、時又港を訪ねたり、  
観光の新しい拠点に期待高  
まる!!

時又港の今昔

飯田近郊の観光の新しい  
拠点となつた新時又港です  
が、この存在が地域に対し  
て今後どのような位置を上  
めてゆくか、地域が変わ  
かといったことを見まもつ  
てゆきたいと思います。

わった時又港も大正から昭  
和の初めにかけて下流に建設  
されたダムと、飯田線の開通  
により一旦その歴史を閉じ  
ます。

観光の新しい拠点に  
期待高まる!!

わった時又港も大正から昭和の初めにかけて下流に建設されたダムと、飯田線の開通により一旦その歴史を閉じます。

そして戦争と戦後の復興を経て世の中が豊かになり観光、レジャーに出かけることが多くなった時、観光としての時又港が復活したわけです。

飯田近郊の観光の新しい

# ～ふる里の財産～ 鈴岡・万寿山両公園を見直そう!!

る駄科鈴岡公園、桐林万寿山公園でそれぞれ記念行事が行なわれた。

鈴岡公園は開園八十周年、万寿山公園は、公園を管理する地元青年で構成される共和会発足百周年を迎えた。

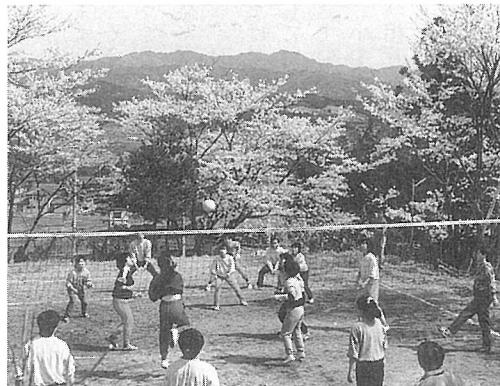
毎年つづじの花に合わせてゴールデンウィーク中開かれる鈴岡公園のつづじ祭りは、民踊クラブによる踊り、カラオケ大会や、弓道大会などが臨時売店などと

ているが、今年はこれに加え開園八十周年記念として公園内で記念式典が行なわれたほか、夜は花火の打ち上げが行なわれ、六十周年以来二十年ぶりの公園の花火という事で地元の人達を喜こばせた。

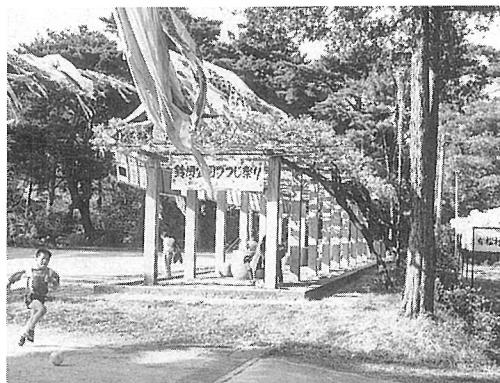
一方万寿山公園では一足早い四月はじめから桜祭りが開かれ、国道から見える夜桜は地元以外の人達の目をもうばい、多くの花見客

ボーリコートがあり、毎年期間中の日曜日を利用して常会対抗バレー・ボーリ大会が恒例の行事となつてゐる。年間通して同公園を管理している共和会が組織されてちょうど百年を迎え、記念式典も期間中園内で行なわれた。

両公園とも古い歴史を持つ場所であるが、鈴岡公園は城跡としても毛賀沢をへだてた松尾城址と共に有名



桜の万寿山公園



## つつじの鈴岡公園

私達の住む竜丘は自然の中に先人の文化と歴史がとけ合っている。先日、記念行事が行なわれた鈴岡公園、万寿山公園であるが公園の持つ意味、役割は今進められようとしている。竜丘地区基本構想・計画にも大きく影響するはずである。

であるが、明治四十五年に同地区の壮年で組織されたいた同盟会が中心となつて城跡を公園として永久に保

れているギフチヨウ保護運動なども合わせ数える程度である。昨年出された竜丘填マップなどを見てもわ

五月晴れのもと  
相次ぐ接

# 戰

が田植えと重なる為もう少し早い時期にしてほしい。試合時間をもう少し長くしてほしい等来年度への要望も出しました。又、今三選手

いつも過言ではない。私達はその公園の中で暮らしているのに中に入ってしまふとなかなかそれに気付かない。公園の持つ意味、役割はこの場で言い尽くせるものでないが、今年は竜丘地区基本構想・計画策定の重要な年でもあり、公園に対する考え方が基本構想を進めて行い、上でも重要なポイントとなる事は確かにある。多くの方達の参加で動広場で分館交流男女ソフトボール大会が行なわれた。前日の雨でグランドコンディションは上々というわけにはいかなかつたが、五日晴れの中、各分館えりそぐりの選手らのハッスルプレー や喚声にわき上がつた。男子A（四十一才以上）男子B（四十才以下）共、大勝、大敗といった試合でなく各試合共接戦で、決勝

えのある試合だった。結果は男子Aが時又分館、男子Bが桐林分館で共に二連覇今年こそはと意気込んだ他分館の来年が期待される。又、女子の試合ではやはり経験がものを言う競技らしく、攻守の差が試合に出、総合力に勝る駄科分館が二連覇を狙う桐林分館を敗り、過日の反省会では、時刻栄冠を手にした。

女子	男子B	男子A	区分
駄科	桐林	時又	優勝
桐林	駄科	桐林	二位
原長野	時又	駄科	三位



## 熱 戦 の 一 幕

この様な現状の中駄科地区では、鈴岡城址をアピールできる壁画を作ろうといふ計画が進みつつある。今岡公園管理委員会を中心となり、鈴岡公園壁画製作実行委員会が組織された。県道四四四号線（県道駄科大瀬木線）鈴岡公園入口西側コンクリート壁をペイントする計画で、区民の手づくりを基本として今年度中に完成の予定である。

私達の住むこの竜丘に古い歴史と自然をあわせつつ多くの場所が残されてゐるが、この二つの公園のようにみんなの公園となる様態で活動上段開発に伴なつて活動

新築された上川路公民館

事業組織等の記録、上川路の今の現状を写真と地図で、新八民館建設に関する資料等が寄せられました。この収集物については新八民館に展示され、民の皆さんにご覧いただきたいです。

いた後に敷地の一角に埋設されました。

三十年後の二千二十年には、あの川、あの家、あの田ノぼ、そしてあの人は。「タクイムカプセル」は、子の代孫の代への大きな大きな贈り物になるよう願いを込められた物になつたでしよう。

旧公民館は、大正十年頃集会所として建設され、戰後公民館となり区民の集合の場として長年にわたつて役立ち又親しまれて来ました。

時代の流れと共に、旧公民館も老朽化が進み、又、各クラブも数が増え、練習、会合と、混雑するようにな

設にんタム云々の如きが、十年余り以前に、新公民館建設問題が持ち上がりました。三年前の昭和六十二年十一月に研究委員会ができ、六十三年二月に、横井保雄会長を中心とする建設委員会が発足し以後、区民の人である清水雪江さんからの寄附など、区民の深い理解と協力によって立派に完成されました。この新公民館は、今後区民のコミュニケーションの場として地域発展に末長く活用されて行く事でしょう。